

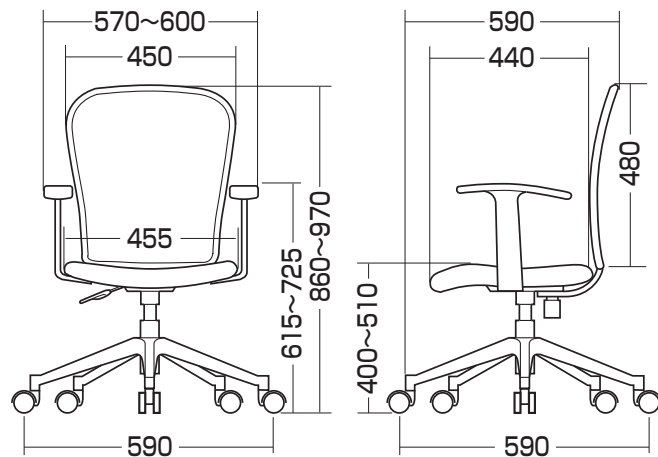
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
このスイングアームチェアは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

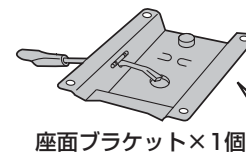
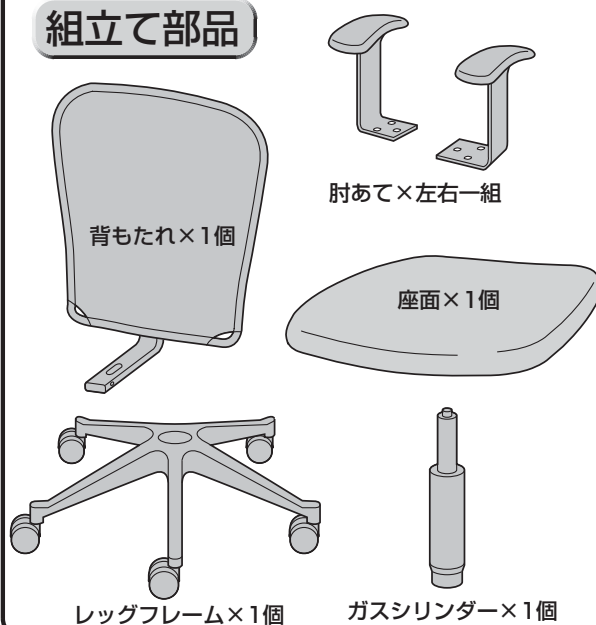
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・プラスドライバー
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

完成図



組立て部品



座面ブラケット×1個

座面ブラケットにはあらかじめ下記の
部品が取付けられています。



キャップ×1個



ピン×1本



特大ボルト×1本



バネ×1個

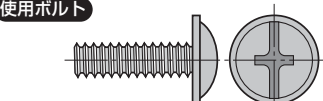


ツマミ×1個

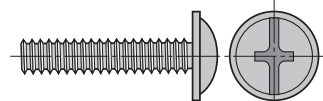


ストッパー×1個

使用ボルト



ボルトA×4本 (1/4"×3/4")



ボルトB×6本 (1/4"×9/8")



ナット×1個



六角レンチ×1本

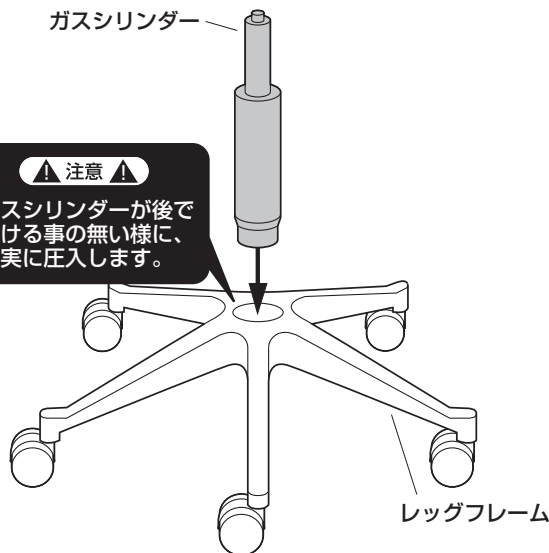
1

レッグフレームにガスシリンダーを
差し込みます。

ガスシリンダー

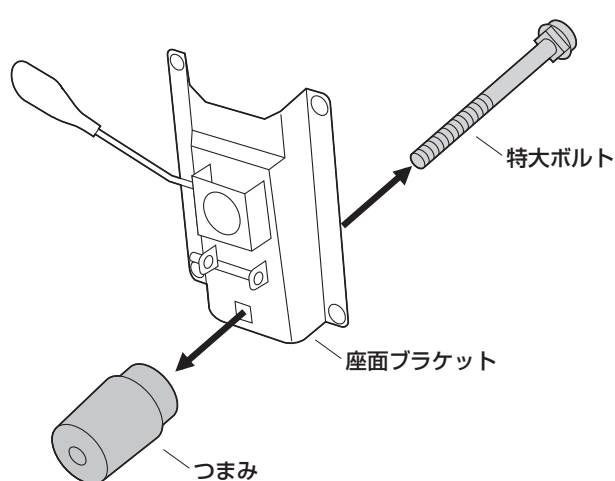
⚠ 注意 ⚠

ガスシリンダーが後で
抜ける事の無い様に、
確実に圧入します。



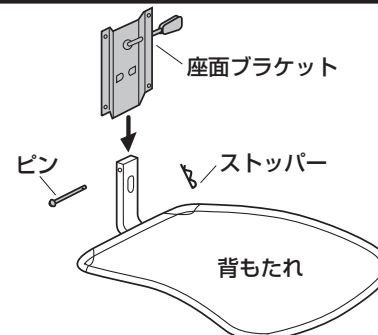
2

座面ブラケットからツマミを取外します。

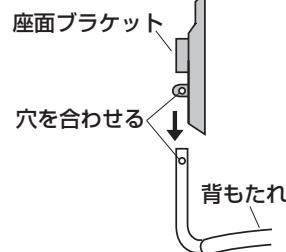


3

背もたれを寝かせて、座面ブラケットを
ピンとストッパーで取付けます。

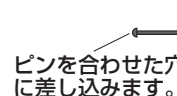


真横から見た図



①

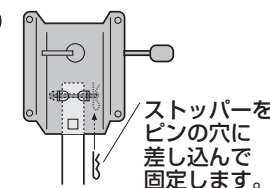
座面ブラケット



ピンを合わせた穴に
差し込みます。

背もたれのパイプ

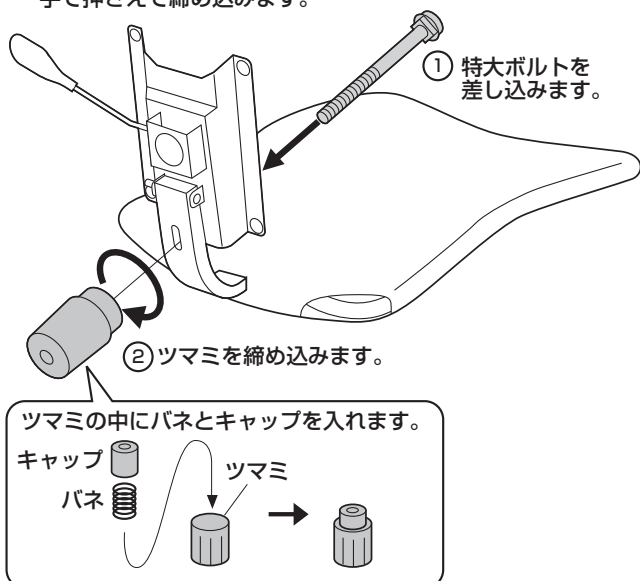
②



ストッパーを
ピンの穴に
差し込んで
固定します。

4 ツマミを取付けます。

※特大ボルトが回らないように、ボルトの頭を手で押さえて締め込みます。

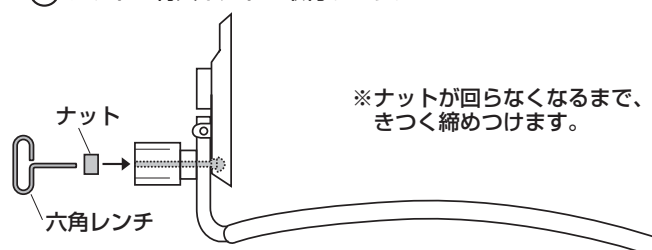


5 ナットを取付けます。

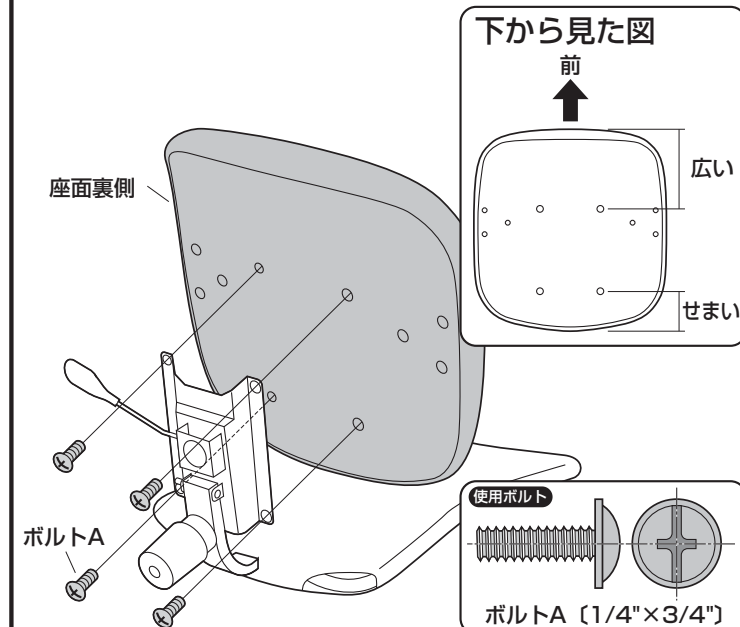
① ツマミを特大ボルトと同じ高さになるまで締め込みます。



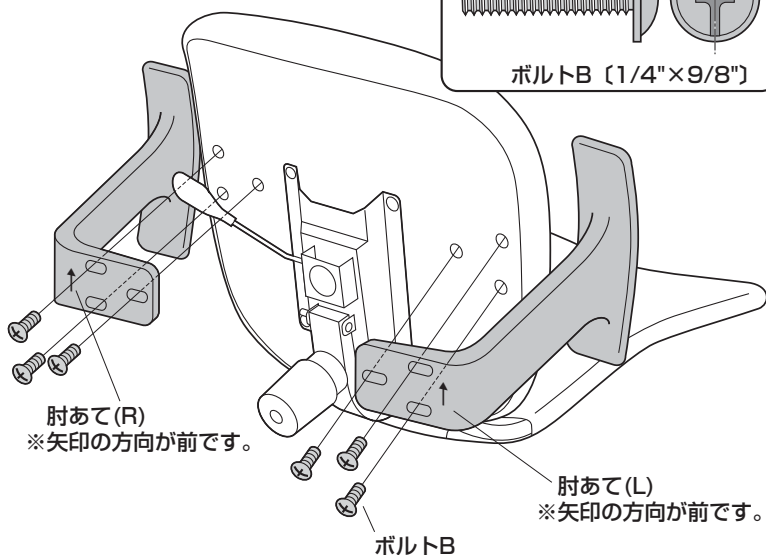
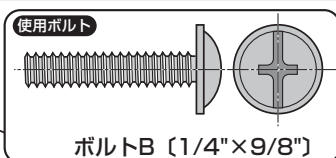
② ナットを特大ボルトに取付けます。



6 座面ブラケットに座面を取付けます。



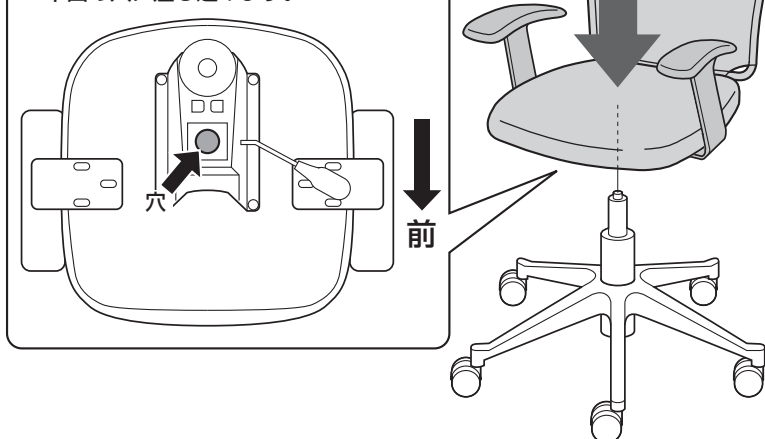
7 肘あてを取付けます。



8 座面ブラケットにガスシリンダーを差し込んで完成です。

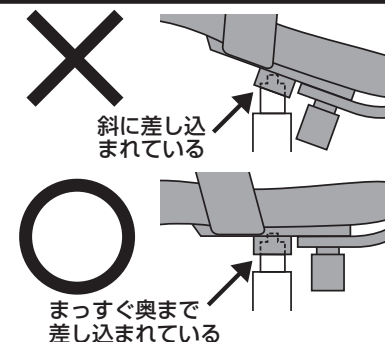
下から見た図

※下図の穴に差し込みます。



⚠ 注意 ⚠

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜に差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



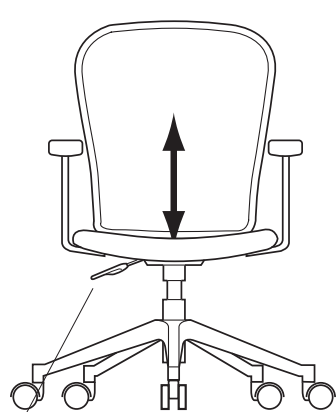
最後に座面に座り、体重をかけて押し込みます。

座面の高さの調節方法

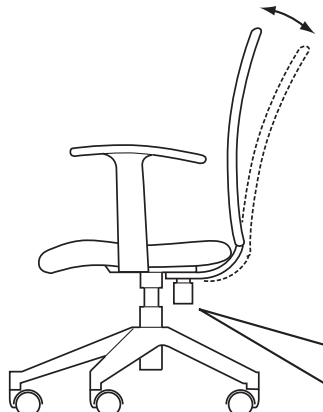


注意

レバーを回転させてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。
正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。

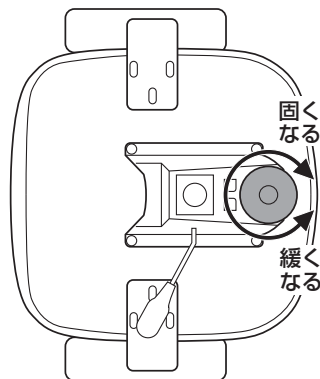


・レバーを引き上げると座面の高さ調節ができます。



下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



チェアの品質表示

外形寸法：幅590～600×奥行590×高さ860～970mm
(座面高さ400～510mm)

構造部材：座部/木材、ウレタンフォーム 背もたれ部/スチール
脚部/ナイロン 肘あて部/ポリプロピレン キャスター部/ナイロン
張り材：ポリエステル クッション材：ウレタンフォーム

使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面や肘あての上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。